

## NY マーケットレポート (2017年3月28日)

NY 市場では、トランプ政権の景気対策の実現に対する懸念が引き続き材料視されており、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。しかし、米消費者信頼感指数が市場予想を大きく上回り、2000年12月以来の高水準となったことや、リッチモンド連銀製造業指数も2010年4月以来の高水準となるなど、米国の経済指標が大きく改善したことや、下落して始まった米株価がプラスに転じ、上昇が続いたことも加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

また、米債券利回りが上昇したことで、日米の金利差拡大が意識されたことも、ドルの押し上げ要因となった。一方、英国が29日にEU離脱プロセス開始を通告するのを控え、ポンドは主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

### 2017年3月28日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.68	110.83	110.53
EUR/JPY	120.19	120.39	120.06
GBP/JPY	139.28	139.29	138.80
AUD/JPY	84.14	84.56	83.94
EUR/USD	1.0858	1.0872	1.0849

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.72	110.38
EUR/JPY	120.26	119.80
GBP/JPY	139.40	138.58
AUD/JPY	84.22	83.86
EUR/USD	1.0865	1.0846

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.10	111.20	110.18
EUR/JPY	120.15	120.19	119.70
GBP/JPY	138.45	138.65	138.05
AUD/JPY	84.82	84.92	83.82
NZD/JPY	77.91	77.97	77.47
EUR/USD	1.0815	1.0872	1.0799
AUD/USD	0.7635	0.7654	0.7598

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20701.50	+150.52
S&P500	2358.57	+16.98
NASDAQ	5875.14	+34.77
日経225 (CME)	19185	205
トロント総合	15598.57	+92.35
ボルサ指数	49339.24	+26.25
ボベスパ指数	64640.45	+332.06

### 3/29 経済指標スケジュール

08:50	【日本】2月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】2月小売業販売額
14:00	【日本】3月中小企業景況判断
15:00	【スイス】2月UBS消費指数
15:00	【ドイツ】2月輸入物価指数
15:45	【フランス】3月消費者信頼感指数
16:00	【スウェーデン】3月消費者信頼感指数
16:00	【スウェーデン】3月景気動向調査
17:00	【スイス】3月ZEW景況感調査
17:30	【英国】2月マネーサプライM4
17:30	【英国】2月住宅ローン承認件数
17:30	【英国】2月消費者信用残高
17:30	【英国】2月住宅証券融資高
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
23:00	【米国】2月中古住宅販売仮契約

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1255.60	-0.10
NY 原油	48.37	+0.64
CME コーン	357.75	+2.00
CBOT 大豆	972.00	+0.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.302%	1.253%
3年債	1.549%	1.506%
5年債	1.962%	1.915%
7年債	2.242%	2.193%
10年債	2.416%	2.373%
30年債	3.020%	2.982%

ドイツ10年債	0.388%	0.402%
英国10年債	1.192%	1.167%

### 3/29 主要会議・講演・その他予定

- ・英国のEU離脱通告
- ・シカゴ、ボストン、SF連銀総裁 講演
- ・米5年債入札

**NY 市場レポート**

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米卸売在庫（前月比） 0.4%（予想 0.2%・前回 -0.3%）

前回発表の-0.2%から-0.3%に修正



出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米 S&P/ケース・シラー[総合20] 192.81（前回 192.41）

前回発表の192.61から192.41に修正

1月米 S&P/ケース・シラー[総合20]（前月比） 0.86%（予想 0.70%・前回 0.93%）

1月米 S&P/ケース・シラー[総合20]（前年比） 5.73%（予想 5.60%・前回 5.47%）

前回発表の5.58%から5.47%に修正



出所 : Bloomberg

**経済指標データ**

《S&P/ケース・シラー住宅価格指数》

(米主要 20 都市) 季調前

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
指数	192.81	192.41	191.84	191.50	191.43	191.32
前月比	0.21	0.30	0.18	0.04	0.06	0.31
前年比	5.73	5.47	5.11	4.94	4.89	4.95

1月の米 S&P ケース・シラー住宅価格指数は、主要 20 都市圏の住宅価格動向を示す指数が市場予想の 5.60%を上回る、前年同月比 +5.73%となり、2014年7月以来の大幅な伸びを記録した。物件の在庫不足が影響した。また、前月比では+0.86%と、市場予想の+0.70%を上回った。関係者は、最近の利上げは住宅ローン金利を急激に押し上げておらず、住宅価格上昇の向かい風にはなっていないとした。ただ、FRBの利上げペースが今後加速すれば住宅ローン金利の上昇が懸念材料となる可能性があるとして指摘した。

《ポイント》

CDS (クレジット・デフォルト・スワップ) 市場では、ズマ大統領が、投資家説明会出席のため海外に出ているゴードン財務相に帰国を命じたことを背景に、南アフリカの債務保証コストが約 8 週間ぶりの高水準を付けた。期間 5 年の CDS コストは 4bp 上昇の 209bp、2026 年償還債利回りは 5bp 上昇の 4.6618%。

23:00

《 経済指標の結果 》

3月米消費者信頼感指数 125.6 (予想 114.0・前回 116.1)、  
 前回発表の 114.8 から 116.1 に修正



出所: Bloomberg

**経済指標データ**

《消費者信頼感指数》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
信頼感指数	125.6	116.1	111.6	113.3	109.4	100.8
現況指数	143.1	134.4	130.0	123.5	132.0	123.1
期待指数	113.8	103.9	99.3	106.4	94.4	86.0

【現況指数】

業況	
良好	32.2・28.3・29.0・28.6・29.7・26.5
悪化	12.9・13.4・15.9・17.8・15.2・17.3
普通	54.9・58.3・55.1・53.6・55.1・56.2
雇用	
十分	31.7・26.9・27.1・26.0・27.8・25.3
不十分	48.8・53.2・51.8・51.3・51.0・53.0
困難	19.5・19.9・21.1・22.7・21.2・22.3

【半年先】

業況	
改善	27.1・23.9・22.9・24.7・16.4・16.4
悪化	8.4・10.5・10.8・8.9・9.9・11.8
横ばい	64.5・65.9・66.3・66.4・73.7・71.8
雇用	
改善	24.8・20.9・19.7・21.47・16.1・14.4
悪化	12.2・13.6・14.4・14.1・13.5・16.6
横ばい	63.0・65.5・65.9・64.2・70.4・69.0

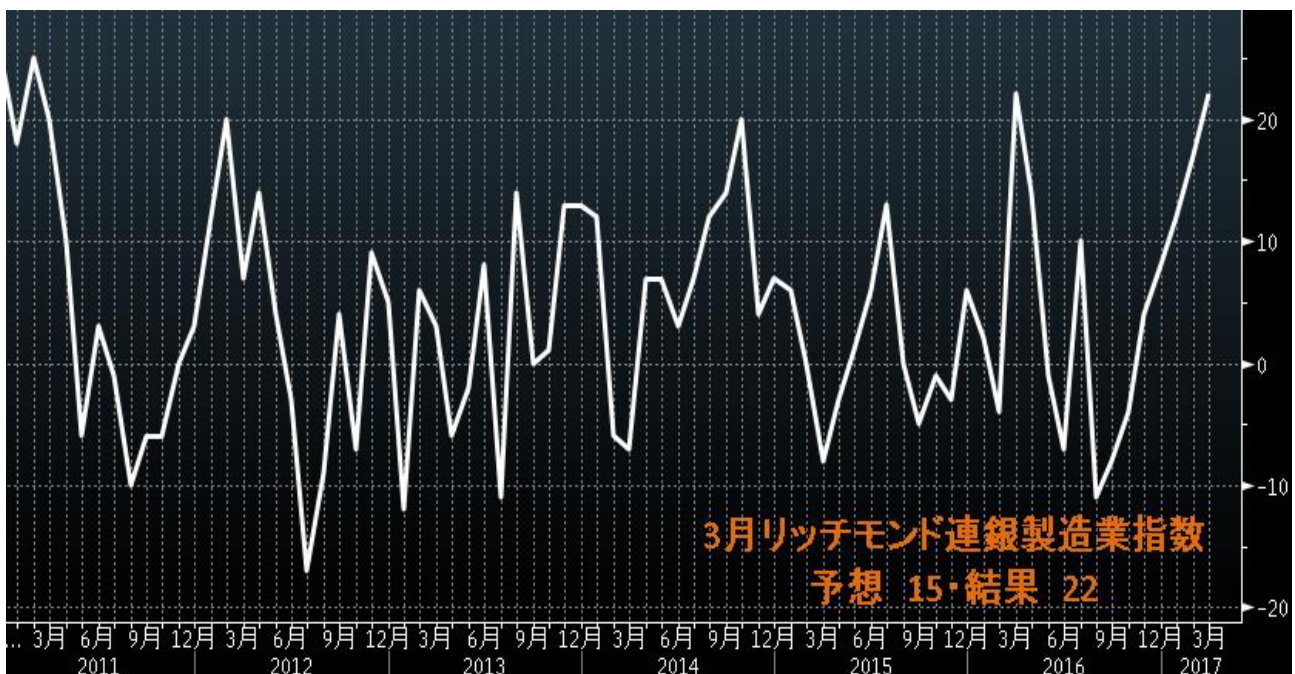
コンファレンス・ボードの3月の米消費者信頼感指数は、市場予想の114.0を大きく上回る125.6となり、2000年12月以来の高水準となった。雇用を巡り楽観的な見方が広がったほか、業況感の改善も寄与した。

現況指数は、前月の134.4から143.1に上昇、期待指数も103.9から113.8に上昇した。雇用関連では、就職困難に関する指数が19.9から19.5に低下した。1年先のインフレ期待は4.6%と、2月の4.8%から低下した。

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月リッチモンド連銀製造業指数 22 (予想 15・前回 17)



出所：Bloomberg

**経済指標データ**

◀ リッチモンド連銀製造業指数 ▶

3月・2月・1月・12月・11月・10月

景況指数	22	17	12	8	4	-4
出荷	17	16	13	12	1	2
新規受注	26	24	15	12	7	-12
受注残	14	8	4	8	-12	-11
雇用者数	20	10	8	-1	5	3
賃金	21	15	11	19	16	18

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月メキシコ失業率(季調前) 3.37% (予想 3.52%・前回 3.59%)

2月メキシコ失業率(季調済) 3.46% (予想 3.64%・前回 3.57%)



出所 : Bloomberg

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、トランプ米政権の政策実現に対する懸念を背景に、主要株価は売りが先行した。ただ、その後に発表された個人消費関連の経済指標が市場予想を上回る結果となったことを好感した買い戻しも入り、プラス圏に値を戻すなど、売り買い交錯する動きとなっている。

◀ 欧州のポイント ▶

スペイン経済相は、今後2-4年のスペインの経済成長率は、毎年2.5%を上回るとの見方を示した。経済相は、31日に2017年度の予算案を提出する際、最新の経済見通しを発表する予定だが、2017年の成長率予想は現行の2.5%に据え置くと述べた。



出所：Bloomberg

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米トランプ政権による経済政策の先行き不透明感を背景に逃避的な買いが入る一方、3月の米消費者信頼感指数が好調だったことを手掛かりに売りも出てもみ合いの展開となった。

午前の利回りは、30年債が2.98%（前日2.98%）、10年債が2.37%（2.38%）、7年債が2.19%（2.20%）、5年債が1.91%（1.92%）、3年債が1.51%（1.51%）、2年債が1.27%（1.26%）。

1:55

◀ 要人発言 ▶

イエレンFRB議長

- ・「米経済は全般的に回復しつつある」
- ・「雇用市場はリセッション以降、著しく改善」
- ・「高失業率が長期化している地域が依然散在する」

2:00

◀ 米財務省5年債入札 ▶

最高落札利回り・・・1.950%（前回 1.937%）  
 最低落札利回り・・・1.800%（前回 1.790%）  
 最高利回り落札比率・・・17.23%（前回 84.24%）  
 応札倍率・・・2.37倍（前回 2.29倍）

2:35

◀ 要人発言 ▶

ジョージ・カンザスシティ連銀総裁

- ・「米消費者は雇用見通しと賃金に対して自信を深める」
- ・「インフレは全般的に落ち着いている」

2 : 40

◀ 要人発言 ▶

フィッシャーFRB 副議長

- ・「財政動向を注視している」
- ・「FOMC は小規模な財政拡大を予測に織り込んでいる」
- ・「今年はあと 2 回の利上げがおおむね適切なようだ」

3 : 00

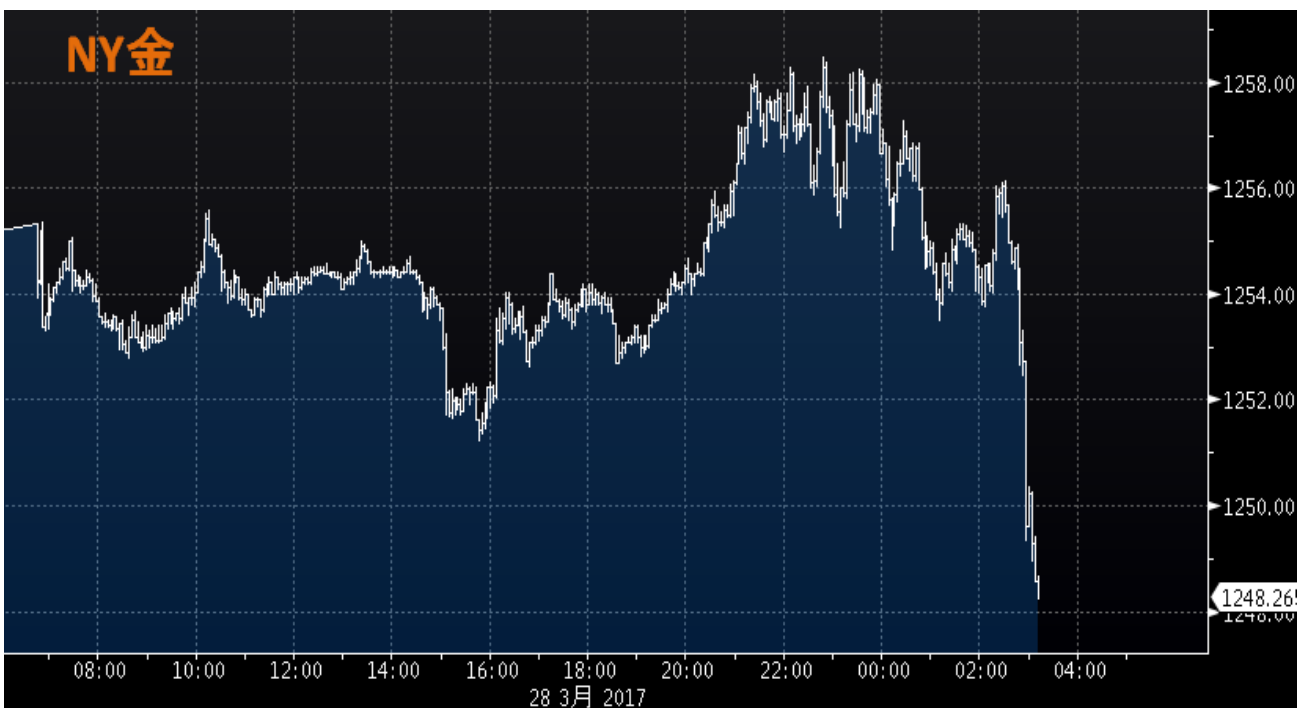
トランプ大統領

- ・「大統領令でエネルギーと雇用の新時代迎える」
- ・「クリーン電力計画の即時見直し命じる」
- ・「米国のエネルギー自立に関する大統領令に署名」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 0.10 ドル安の 1 オンス=1255.60 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米国の株価上昇で投資家のリスク回避志向が和らぎ、比較的安全な資産とされる金の売りが優勢となった。ただ、トランプ米政権の経済政策を巡る先行き不透明感から逃避的な買いも入りやすく、下げ幅は限定的となった。



出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.64 ドル高の 1 バレル=48.37 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、リビアの原油生産が武装集団の妨害で一時停止したとの報道に加え、イランの石油相が OPEC と加盟国の協調減産は延長される見通しだと発言したことも影響し、堅調な動きとなった。



◀ 米株式市場 ▶

米株式市場はトランプ米政権の政策実現に対する懸念を背景に、序盤から売りが先行した。ただ、その後に発表された個人消費関連の経済指標が市場予想を上回ったことを好感した買い戻しが入り、終盤にかけて堅調な動きが続いた。

ダウ平均株価は、序盤 30 ドル安まで下落したものの、その後はプラスに転じ、終盤には 184 ドル高まで上昇した。





◀ 外国為替市場 ▶

外国為替市場は、序盤は軟調な動きが続いたが、米経済指標が予想以上の結果となり、株価が上昇に転じたことなどから、投資家のリスク選好の動きが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、米債券利回りの上昇もありドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。